

開講科目名 / Course	母性看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	濱 耕子	
担当教員名 / Instructor	林 猪都子、永松 いずみ、濱 耕子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	母性の概念や対象の特性、母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状、およびライフステージにおける女性の健康と健康問題を通して、母性看護の役割と機能について学ぶ。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 母性の概念を述べることができる。 セクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツの意義を述べることができる。 母性看護の対象とその特性を述べるができる。 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を述べるができる。 ライフステージにおける女性の健康と健康問題を述べるができる。 	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探究心と創造力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス、母性の概念、セクシュアル・リプロダクティブヘルス/ライツ 母性看護の視点・目的、母性の対象に関わる法律と支援 母性看護の対象理解（生殖器の形態・機能、ホルモン動態） 母性看護の変遷、母性看護における法的倫理的課題と責任 母子保健の動向 母性保護と関連施策について、母性看護に関わる理論 思春期の女性の理解と看護、家族計画と受胎調節 セクシュアリティの発達・現代の健康問題、成熟期・更年期・老年期の健康と看護 	
その他の授業の工夫	学生が講義参加できるように講義中に学生の意見を聞く。	
時間外学修	<p>事前学修：系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論のテキストに目を通して講義に臨む（8h）。</p> <p>事後学修：テキストや配布資料を用いて復習する（14h）。</p>	
評価方法と評価割合	筆記試験（100％）から評価する。	
テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論（医学書院）</p> <p>病気がみえる vol.10 産科（メディックメディア）</p> <p>講義の中で適宜資料を配布する。</p>	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	<p>濱耕子：病院の助産師</p> <p>永松いずみ：病院の助産師</p> <p>林猪都子：病院の助産師</p>
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	エビデンスに基づいた看護と臨床経験をいかした看護を実践し、その理論と確かな技術を学生に指導する。	